

## 政策課題研究 5

# ネットゼロ社会実現にむけた自然資本活用のための地域づくりに関する研究

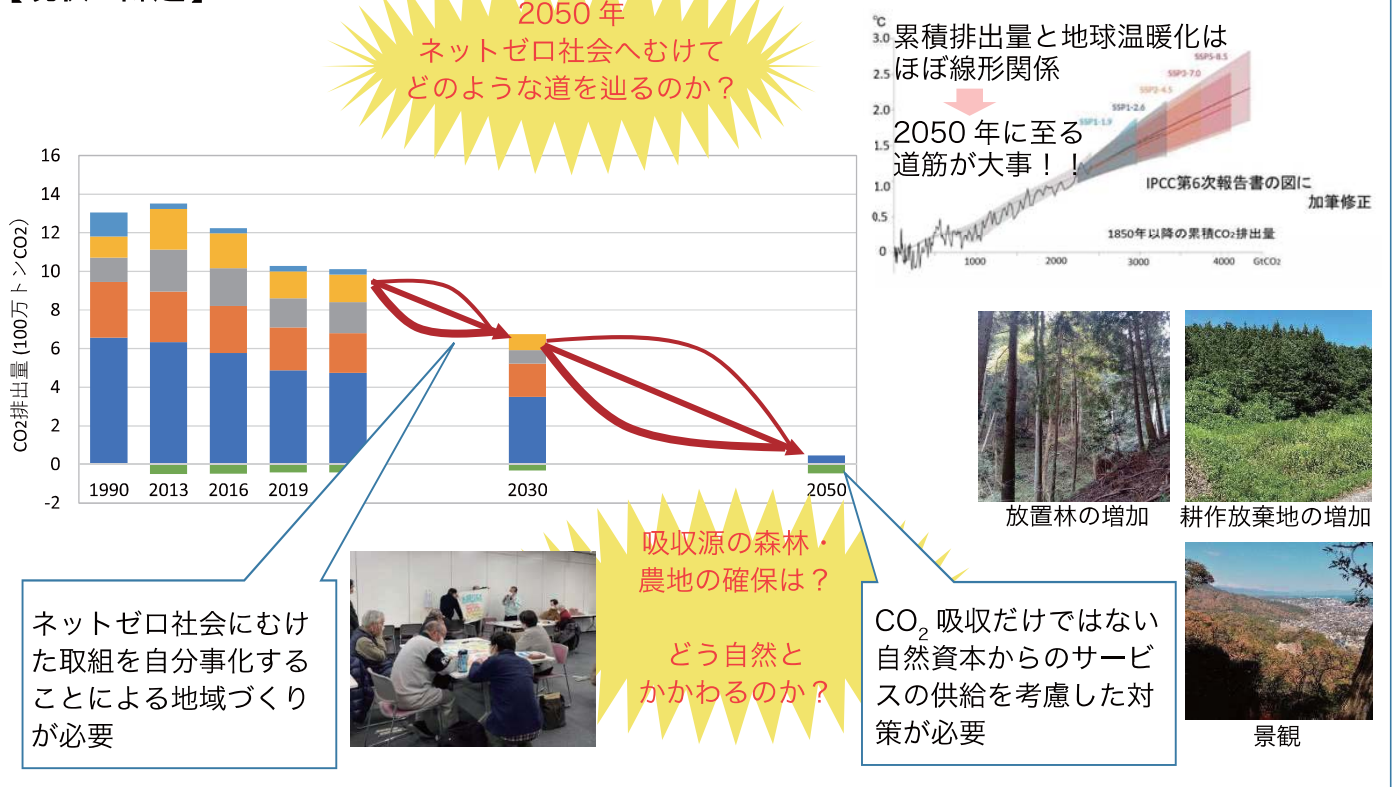
### 【研究概要】

自然資本と経済社会システムとの関係性を定量的に評価する数理モデルを開発し、自然資本と社会経済との関わりに対する気候変動の影響の分析を行います。また、社会経済の側面からの影響分析では、県民意識の把握から得られた情報および求められる行動変容に対する社会的受容性などを考慮したシナリオ分析を行います。さらに、ネットゼロ社会実現のための施策立案における行政と県民、事業者等との多主体によるコミュニケーションプロセスの検討を行います。これらにより、CO<sub>2</sub>が削減され、活力のある地域社会を県民主導で目指すために、地域資源の持続的、効果的な活用に関する在り方や具体的な県民参加手法および合意形成に向けた方策を提示します。

### 【サブテーマ】

- ①自然資本と経済社会システムの関わりを統合的に評価する数理モデルの開発と適用
- ②自然資本活用型の社会に対する県民意識の把握と社会実装支援
- ③気候変動に対応する地域資源活用にむけたシナリオ分析

### 【現状・課題】



自然資本を持続的に活用する社会の必要性

【課題解決に向けて】



1 環境（自然資本）、経済・社会を統合的に評価するモデルの開発

- 自然資本と経済社会システムの関わりを統合的に評価する数理モデルの開発
- 自然資本を最大限、持続的に活用する社会への転換シナリオの分析

2 自然資本を活用した社会に対する県民意識の把握

- 気候変動による自然資本への影響評価
- 気候変動影響の評価に基づく県民主導による施策立案手法の検討

3 気候変動に対応した地域資源の活用

- 自然・人工ストックとそのサービス需給を評価するモデル開発
- 気候変動への適応レベルを考慮したシナリオ分析

- CO<sub>2</sub>ネットゼロ社会の実現にむけた自然資本活用型将来像の可視化と在り方の提案を行う。
- ネットゼロ社会実現に向けた施策立案における科学的知見を確立する。
- 多主体間のパートナーシップ形成に向けたコミュニケーションプロセスの提案を行う。